



管理部 次長 武 様

#### 講話内容

- ・ 地域企業における DX の取組
- ・ 会社概要、経営理念、グローバル展開、アピールポイント（製品案内）など

#### 学生のワークシートから抜粋

##### 【わかったこと等】

- ・ 1960 年創業 従業員数 110 人（グループ合計 205 人）
- ・ プラスチックの加工に必要な金型をグループ会社で作っている。
- ・ グローバルに中国、タイにも展開している。
- ・ 樹脂と樹脂を一体化させるには熱溶着や超音波溶着などの溶着技術が必要。
- ・ 技能士が多くいて、射出成形と金型製作の特級技能士がいる。
- ・ 生産ラインでの検査→箱入れ、を自動化させている。
- ・ 車のブレーキ部品やホチキスの部品も作っている。
- ・ IoT システムを導入し、稼働状況、生産数量、不良数量、不良内容などをパソコンで確認している。
- ・ 成形機をつなぐ IoT システムと業務管理システムのデータを行き来させることで、生産状況や在庫の状況、品質状況の管理がシステム上で可能になる。
- ・ ロボット化は技術部門が自作している。
- ・ 生産ラインを自社システムで自動化している。
- ・ 環境に配慮した、バイオマスプラスチックを使ったクリップやうちわなども製作している。

##### 【考えたこと、感想等】

- ・ 竹などの木材を使った自然に優しいプラスチック製品も作っていて、環境改善に取り組んでいる姿勢が良いと思った。
- ・ 今の時代に合わせ、環境に配慮したバイオマスプラスチック製品の製作がとても良い

と思った。

- ・ インターンシップで獲得した知識があったので、話を分かることができました。
- ・ DX を進めようとするには、プログラミングができるようになっていた方がいいと思った。
- ・ IoT システムを導入することにより、生産状況や在庫の状況などの管理が楽になることを知って、すごいと思った。
- ・ 上田プラスチック株式会社を知ることができた。
- ・ 作業の効率を上げるために、自社で製作したシステムで自動化していて、すごいと思った。
- ・ IoT で成形機の管理や社内 LAN の構築など DX が進んでいて、良いなと思った。
- ・ 企業の DX に仕方について、どうやって DX 化していくかの参考になった。
- ・ DX 化をすることで作業が自動化されたり、労働時間が削減されたりするから、どんどん DX 化した方が良いと思った。
- ・ DX 化には色々なスキルを身につける必要があることが分かりました。
- ・ プラスチックのすごさや DX について理解を深めることができて良かった。
- ・ バイオマスプラスチックというものに驚いた。植物を使ったプラスチックというものがこの先どうなっていくかが楽しみです。
- ・ 環境のことを考えて、木の粉を混ぜて必要な樹脂の量を減らす取組みをしていて、すごいと思いました。
- ・ ロボットと人間が共働するのはとても面白いと思った。これからの時代 DX を上手く使いこなし、より効率的に進めることが重要だと思った。